

「栗辻早重、暮らしをデザインする幸せ」

栗辻早重 × 須藤玲子

7月23日(火)トークイベントのご案内

人形作家の栗辻早重氏の書籍「ちいさな子のためのリメイク」が6月23日に出版されました。出版を記念して、著者の栗辻早重氏とテキスタイルデザイナー須藤玲子氏を迎え、楽しい布ライブについてトークイベントを行います。(ファシリテーター 柴田文江氏)



日時 7月23日(火) 19:30 - 21:30 (19:00開場)
※21:00~21:30 飲物だけの簡単な懇親会をおこないます。(参加自由/無料)

会場 東京ミッドタウン・デザインハブ内
インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F
アクセス http://www.liaison-center.net/?page_id=725

定員 80名 / 要予約
満席の際は立ち見になる場合があります。予めご了承ください。

参加費 無料

申込み方法 ご氏名(ふりがな)、お電話番号、メールアドレス、ご職業を記載の上、下記メールアドレスまでお申し込みください。
info@awatsujidesign.com

応募締切 2013年7月19日(金)

お問合わせ TEL: 03-3402-9251 栗辻デザイン(深堀)

主催 株式会社栗辻デザイン

協力 公益財団法人日本デザイン振興会

PRサポート 株式会社ハウ
TEL: 03-5414-6405 info@how-pr.co.jp (小池)

家族のために創意と工夫を凝らした洋服のリメイクや、生きることの幸せを体現するふくよかな人形。そして毎日の暮らしに根付いた美しい道具のコレクションと、そこから紡ぎ出される楽しい暮らしと美味しい料理。早重さんを見ていると、デザインとは人生を豊かにするものだと思えます。そして歳を重ねることが楽しみに感じられるのです。私にとっても憧れであり、目標であり、生きる勇気をくれる存在、そんな早重さんのクリエイションの魅力を、ご本人の言葉で語っていただき、デザインがもたらす幸福について、みなさんと一緒に考えてみようと思います。

柴田文江
プロダクトデザイナー



子どもの頃から布好きで、布でものを作ることがおもしろく、家族のものをよく作っていました。すべて見よう見まね。自由に布を切って弟には映画「子鹿物語」の少年ジョディが履いていたズボン、妹にはフリルがいっぱいのスカート、映画や雑誌で見たものがそれらしく出来上がっていくことに興奮したものでした。

布ほどフレキシブルな素材は他にはないと思っています。こうでないといけないという決まりがない、工作のような自由な発想には何かドキドキさせるものがあります。そして先日、楽しみながら孫につくった服が一冊の本になりました。着古した私のTシャツでつくった、頭と手がすっぽりに入るゆるゆるパンツとゆるゆる服たち。布は古くなると人肌のような柔らかさになり、ヌルツとしてあかちゃんの肌にピッタリです。人生もクリエイティブなものづくりと同じ、切って、貼って、縫って、一日一日を楽しみながら作っていくものだと思います。

粟辻早重



あ、カンタン。30min
ちいさな子のためのリメイク

定価：本体1,300円(税別)

ブックデザイン：粟辻デザイン
編集協力、デジタルトレース：しかのる一む
パターングレーディング：上野和博
編集：大森真理、弘田美紀(文化出版局)



粟辻早重 Sanae Awatsuji

大阪生まれ。人形作家。太めの女性たちを潑刺とした姿で表現した人形はCMにも起用され、話題に。常に新しいことに興味を持ち続けるアーティストとしてのアンテナは、食や暮らし全般にまで及ぶ。世界中のやかんのコレクションでも知られ、2013年には「やかん展」を開催。夫はテキスタイルデザイナーの粟辻博(故人)。40年近い人形製作をまとめた『ふくよかさんがゆく』(リトルモア)、絵本『こねこちゃんとおかあさん』(絵・粟辻早重 文・日暮真三)のシリーズ(DNPアートコミュニケーションズ)の著書がある。



須藤玲子 Reiko Sudo

photo by Shigeki Nakajima

茨城生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科テキスタイル研究室助手を経て、株式会社「布」の設立に参加。現在取締役デザインディレクター。東京造形大学教授。毎日デザイン賞、ロスコア賞、JID部門賞等受賞。英国UCA芸術大学より名誉修士号授与。日本の伝統的な染織技術から現代の先端技術までを駆使し、新しいテキスタイルづくりをおこなう。作品は、ニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館、ボストン美術館、ビクトリア&アルバート美術館、東京国立近代美術館工芸館等に永久保存されている。

